

都市再生整備計画(第4回変更)

おおがきえきしゅうへんちく
大垣駅周辺地区

岐阜県 おおがきし
大垣市

平成29年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	おおがきし 大垣市	地区名	おおがきましゆうへんちく 大垣駅周辺地区	面積	168 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 29 年度				

目標

大目標：大垣駅周辺の賑わいと憩いの創出

- 目標1：賑わいと活力ある中心地の再生
- 目標2：中心地の交流と憩いの場づくり
- 目標3：歴史的資源を活用した観光まちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本市の都心を形成する中心市街地には、鉄道、バスなどの公共交通機関の結節点である大垣駅や商業・業務施設が集積し、西濃圏域の中心地としての役割を果たしてきた。
- 都心から郊外への人口移動、大型商業施設の郊外立地、車社会の進展などにより、中心市街地の空洞化、都心機能の低下が顕著になっている。
- 昭和60年に「中心市街地活性化計画」を策定し、大垣駅舎の改築、駅ビルの建設、駅前広場の整備、駅通りをはじめ主要幹線道路の沿道修景など計画的な都市機能の充実、再生を図ってきた。
- 平成10年に「中心市街地活性化基本計画」を策定し、西濃圏域の生活文化創造の交流拠点として、新たな中心市街地の再構築に取り組んだ。
- まちづくり市民活動を総合的に支援・育成していくために、平成15年4月に「大垣市まちづくり市民活動育成支援条例」を制定し、同年7月には市民活動の拠点施設として、「まちづくり市民活動支援センター（愛称：まちづくりプラザ）」を当地区内に設置した。
- 平成18年度～22年度にかけて、「大垣市中心市街地地区都市再生整備計画」に基づき、まちづくり交付金を活用して、総合的なまちづくりに取り組んだ。
- 平成21年には、従来の「中心市街地活性化基本計画」を見直し、新たに「中心市街地活性化基本計画」を策定し、新たな中心市街地の再構築に取り組んでいる。
- 平成22年度には大垣駅南街区市街地再開発準備組合を設立、平成24年度には大垣駅南街区市街地再開発組合を設立し、大垣駅南街区市街地再開発に取り組んでいる。
- 平成20年の大垣市制90周年を契機に、奥の細道むすびの地周辺整備構想を策定し、平成22年度～23年度にかけて、「奥の細道むすびの地地区暮らし・にぎわい再生事業計画」に基づき、社会資本整備総合交付金を活用して、奥の細道むすびの地記念館を建設した。
- 平成23年度～25年度にかけて、「奥の細道むすびの地周辺地区都市再生整備計画」に基づき、社会資本整備総合交付金を活用して、中心市街地への来訪者の増加を図るべく、総合的なまちづくりに取り組んだ。しかし、来訪者は増加したものの、来訪者の増加に伴う公共インフラの整備がまだ不足している。

課題

- 近年の車社会の進展、大型商業施設の郊外立地などにより、大垣市の文化や伝統を育んできた「まちの顔」である中心市街地の拠点性が低下しているため、シンボリックな拠点である奥の細道むすびの地記念館を中心とした奥の細道むすびの地周辺と、駅南街区市街地再開発事業など開発の進む中心市街地との導線である地区内の道路整備、自転車駐車場を整備することで、回遊性をより一層高める必要がある。
- 中心市街地に人々が集い交流するための拠点として、まちなかの公園や広場を整備することで、憩いの場の提供をする必要がある。また、既存施設との連携強化、さらには利活用の充実により、まちのにぎわいの再生を促進する必要がある。
- 大垣宿本陣跡などの歴史的・文化的遺産を有する、本市の特色を生かした魅力的な公共空間の創出と風情ある都市景観の形成のためには、美濃路を整備することで来街者の増加を図り、まちの賑わいを取り戻す必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- 大垣市第五次総合計画の中で、本市の都心である中心市街地について、奥の細道むすびの地周辺地区の整備をはじめとした歴史や文化など大垣の個性を生かしたまちづくりを進めるとともに、中心市街地を魅力ある都心として再整備し、地域資源と調和する都市空間づくりや景観形成を図ることを定めている。
- 中心市街地活性化基本計画では、全体方針として、『歩いて楽しめるとともに、住みやすく便利な「大垣らしい」魅力を発揮し、まち全体でにぎわいを創出する』とし、「①観光客などの来街者や、商店街と大型店舗との連携・共存によるまちなかのにぎわい創出」、「②まちなかの利便性を活かした住宅供給によるまちなか居住の推進」の2つの基本方針を定めている。

目標を定量化する指標

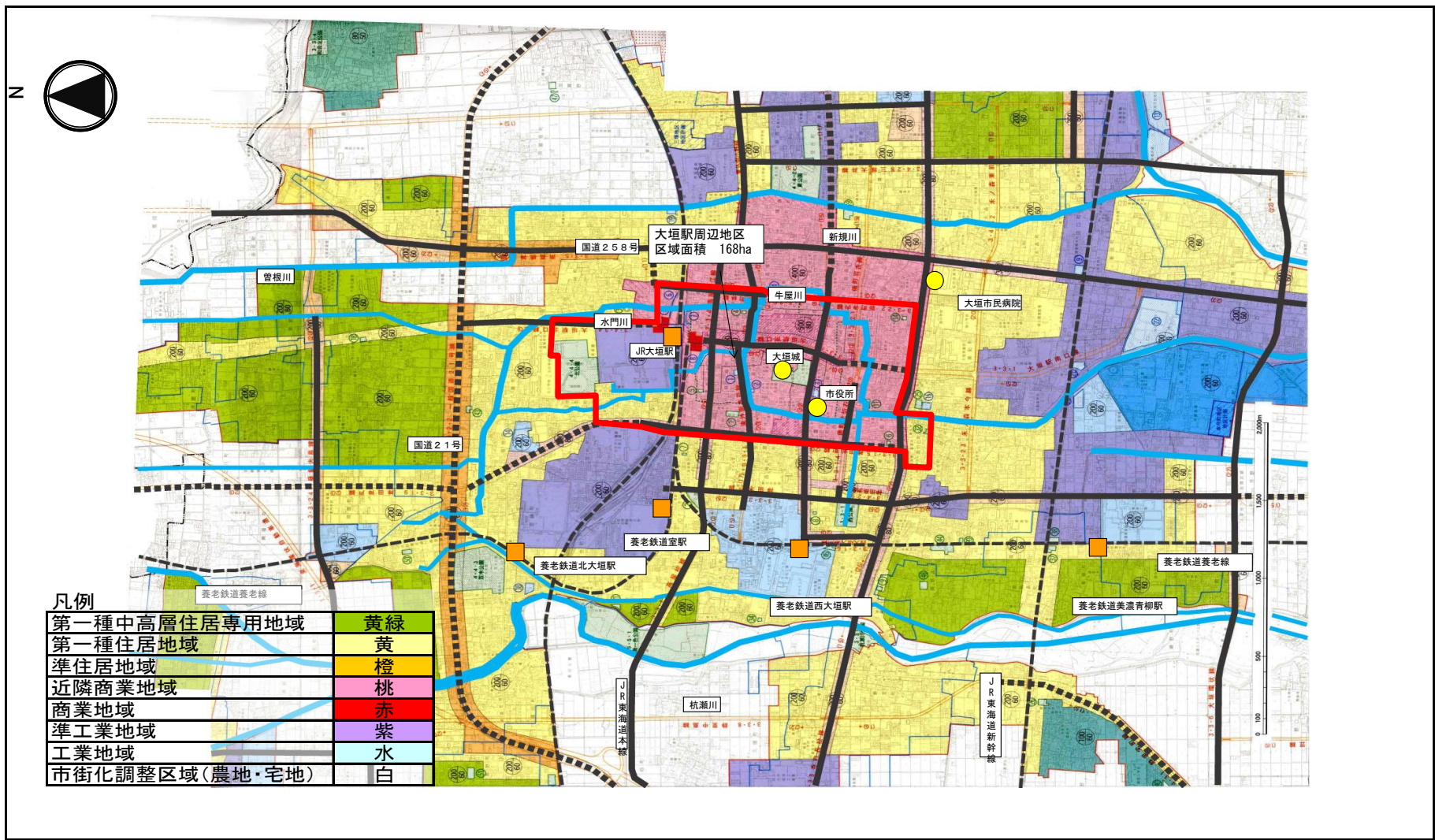
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値		目標値	
						基準年度		目標年度
駅周辺利便性満足度	%	大垣駅周辺地区来訪者のアンケートによる満足度	大垣駅周辺地区の来訪者にアンケートを実施し、満足度40%を目指す。		18	平成25年度	40	平成29年度
歩行者及び自転車通行量	人/日	大垣駅周辺地区の休日歩行者・自転車通行量	大垣駅周辺地区の休日歩行者・自転車通行量を従前値の1.01倍を目指す。		9,747	平成25年度	9,880	平成29年度
地区内公園の利便性満足度	%	大垣駅周辺地区来訪者のアンケートによる満足度	大垣駅周辺地区の来訪者にアンケートを実施し、満足度40%を目指す。		24	平成25年度	40	平成29年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(賑わいと活力ある中心地の再生) ・大垣駅南街区市街地再開発整備に併せて駅西自転車駐車場(2期)、大垣駅南口エスカレーターを整備することで、来街者の増加に努める。</p>	<p>■基幹事業 ・地域生活基盤施設(自転車駐車場):駅西自転車駐車場(2期)整備 □提案事業 ・地域創造支援事業:大垣駅南口エスカレーター整備事業 ○関連事業 ・大垣駅南街区市街地再開発事業 ・まちなか住宅取得支援事業 ・大垣駅南街区道水路再整備事業</p>
<p>整備方針2(中心地の交流と憩いの場づくり) ・大垣駅南街区市街地再開発整備に併せてまちなか道路再生事業、見取第1公園、むろみ公園、馬場町公園、室町公園、大垣駅南街区広場、水門川の橋梁を整備することで、交流と憩いの場を提供する。</p>	<p>■基幹事業 ・道路:まちなか道路再生事業 ・公園:見取第1公園 ・公園:むろみ公園 ・公園:馬場町公園 ・公園:室町公園 ・地域生活基盤施設(広場):大垣駅南街区広場整備 ・高質空間形成施設(緑化施設等):水門川橋梁修景整備 ○関連事業 ・子育て支援施設整備事業</p>
<p>整備方針3(歴史的資源を活用した観光まちづくり) ・美濃路本陣周辺的美濃路街道を整備することにより一層の観光客の誘客を図る。</p>	<p>■基幹事業 道路:まちなか歴史回廊整備</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民参画による都市再生整備計画の策定 平成25年度に、市民参画によるワークショップ等を開催し、中心市街地の課題や都市再生整備計画事業(平成23~25年度)について議論され、その結果を参考に、今回の都市再生整備計画を策定。 ○継続的なまちづくりの取り組み まちづくりに対するアンケート調査等を実施し、その調査結果を今後の事業展開に反映する。 ○市民への情報提供 交付期間中の事業計画、事業の進捗状況等については、ホームページ等で情報公開し、市民の協力と参加を促す。 	

都市再生整備計画の区域

<p>大垣駅周辺地区(岐阜県大垣市)</p>	<p>面積</p>	<p>168 ha</p>	<p>区域 八島町、見取町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、林町2丁目、4丁目、5丁目、6丁目、室村町3丁目、4丁目、郭町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、郭町東1丁目、2丁目、御殿町1丁目、2丁目、馬場町、番組町1丁目、2丁目、西長町、鷹匠町、西外側町1丁目、2丁目、東外側町1丁目、2丁目、桐ヶ崎町、神田町1丁目、丸の内1丁目、2丁目、高砂町1丁目、2丁目、室本町1丁目、室町1丁目、2丁目、宮町1丁目、2丁目、高屋町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、錦町、栗屋町、岐阜町、伝馬町、歩行町1丁目、本町1丁目、2丁目、魚屋町、中町、清水町、船町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、竹島町、今岡町1丁目、2丁目、新町2丁目、南類町2丁目、3丁目、4丁目、田町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、寺内町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、5丁目、横町</p>
------------------------	-----------	---------------	---



大垣駅周辺地区(岐阜県大垣市) 整備方針概要図

目標	大目録:大垣駅周辺の賑わいと憩いの創出 目標1:賑わいと活力ある中心地の再生 目標2:中心地の交流と憩いの場づくり 目標3:歴史的資源を活用した観光まちづくり	代表的な指標	駅周辺利便性満足度 (%)	18 (25年度)	→	40 (29年度)
			歩行者及び自転車通行量 (人/日)	9,747 (25年度)	→	9,880 (29年度)
			地区内公園の利便性満足度 (%)	24 (25年度)	→	40 (29年度)

